3　総合問題（P/L・B/S作成）

第４問で、損益計算書と貸借対照表の作成問題が出題されることがあります。損益計算書の代わりに「損益」勘定が問われることもあります。

出題形式としては、**決算整理前の元帳残高**が与えられていますので、**決算整理前残高試算表 → 決算整理 → 損益計算書・貸借対照表**と手続きを行いますので、決算整理仕訳を行い、それを加味して、損益計算書と貸借対照表を作成します。

損益計算書と貸借対照表を作成する場合には、以下に注意して下さい。

①　「仕入」勘定は、**売上原価**として表示します。

②　「繰越商品」勘定は、**商品**として表示します。

③　「貸倒引当金」勘定は、原則として、売掛金や受取手形などの対象債権から控除する形式で表示します。したがって、貸方ではなく、借方に表示します。

④　損益計算書で算定した当期純利益は、貸借対照表の貸方に当期純利益として表示します。

⑤　損益計算書では、売上原価の内訳（期首商品棚卸高、当期商品仕入高（または、仕入高）、期末商品棚卸高）が問われることがあります。

⑥　損益計算書は２区分形式のものが出題されることがあります。

また、決算整理としては下記の論点が頻出ですので、苦手な論点がないようにしっかり復習して下さい。

①　期末商品（売上原価の算定）

②　貸倒引当金の設定

③　減価償却［５－１］

④　売買目的有価証券の期末評価［４－１］

⑤　消耗品の整理［７－１］

⑥　収益・費用の繰延と見越［第６章］

⑦　訂正仕訳［７－２］

試験対策問題３－１　**次の決算整理前残高試算表にもとづいて、損益計算書（２区分）および貸借対照表を作成しなさい。期末商品は800円であり、備品の減価償却費100円を計上する。**

決算整理前残高試算表

借　方	勘定科目	貸　方
200	現　金	
700	繰越商品	
2,500	備　品	
	備品減価償却累計額	1,500
	資本金	1,300
	売　上	3,200
2,000	仕　入	
600	給　料	
6,000		6,000

・解説

決算整理仕訳を下書用紙に行って下さい。

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
仕　入	**700**	**繰越商品**	**700**
繰越商品	**800**	**仕　入**	**800**
減価償却費	**100**	**備品減価償却累計額**	**100**

・解答

① 損益計算書

収益と費用の勘定科目について、決算整理仕訳を加味して、解答して下さい。また、売上原価の内訳が求められている点、２区分形式である点に注意して下さい。

損　益　計　算　書

費　　用	金　　額	収　　益	金　　額
期首商品棚卸高	700	売　上　高	3,200
仕　入　高	2,000	期末商品棚卸高	800
売上総利益	1,300		
	4,000		4,000
給　料	600	売上総利益	1,300
減価償却費	100		
当期純利益	600		
	1,300		1,300

② 貸借対照表

資産、負債及び純資産の勘定科目について、決算整理仕訳を加味して、解答して下さい。

貸　借　対　照　表

資　　産	金　　額		負債・純資産	金　　額
現　金		200	資　本　金	1,300
商　品		800	当期純利益	600
備　品	2,500			
減価償却累計額	1,600	900		
		1,900		1,900

4　５伝票制における仕訳集計表の作成

最近の全商簿記２級の第３問では、「**５伝票制における仕訳集計表の作成**」が出題されています。

出題内容としては、各伝票や取引が与えられ、そこから仕訳集計表の作成が求められています。

また、関連する補助簿（売掛金元帳や買掛金元帳等）や総勘定元帳（当座預金勘定等）の金額が問われることもありますが、各伝票の処理ができれば、集計するだけなので難しくはないでしょう。

試験対策問題４－１　**関東商店では５伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛取引として処理する方法で起票している。よって、**

②　８月１日の略式の伝票を集計したさいの仕訳集計表の（ア）と（イ）に入る金額を計算しなさい。

③　下記の伝票から、買掛金元帳に転記後の仕入先千葉商店に対する買掛金残高を計算しなさい。

取　引

８月１日　神奈川商店から商品80,000円を仕入れ、代金のうち14,000円は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。

入金伝票	
受取手数料	10,000
売掛金(栃木商店)	22,000
前受金	33,000
売掛金(山梨商店)	60,000

出金伝票	
消耗品費	11,000
買掛金(千葉商店)	20,000
発送費	1,200
買掛金(茨城商店)	7,000

売上伝票	
群馬商店	50,000
群馬商店(値引)	**1,000**
東京商店	90,000
山梨商店	60,000

仕入伝票	
千葉商店	25,000
埼玉商店(戻し)	**5,000**
茨城商店	27,000
(　　　　)	(　　　　)

振替伝票（借方）		振替伝票（貸方）	
買掛金(千葉商店)	30,000	支払手形	30,000
当座預金	44,000	売掛金(栃木商店)	44,000
前受金	19,000	売掛金(群馬商店)	19,000
(　　　)	(　　　)	(　　　)	(　　　)

仕 訳 集 計 表

8月1日

借　方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸　方
	省略	現　金	省略	
		当 座 預 金		
		売 掛 金		(ア)
		支 払 手 形		
		買 掛 金		
		前 受 金		
		売　上		
		受 取 手 数 料		
		仕　入		
		発 送 費		
		消 耗 品 費		
(イ)				(イ)

買 掛 金 元 帳

千 葉 商 店

日	付	摘　要	借　方	貸　方	借または貸	残　高
8	1	前月繰越		99,000	貸	99,000

・解説

1．空欄推定

空欄となっている取引は以下の起票となります。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入伝票	仕　　入	(80,000)	買 掛 金	(80,000)
振替伝票	買 掛 金	(14,000)	当座預金	(14,000)

2．起票

買掛金元帳の千葉商店が問われているので、買掛金のうち千葉商店の取引を明示しています。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
入金伝票	現　　金	10,000	受取手数料	10,000
入金伝票	現　　金	22,000	**売 掛 金**	**22,000**
入金伝票	現　　金	33,000	前 受 金	33,000
入金伝票	現　　金	60,000	**売 掛 金**	**60,000**
出金伝票	消耗品費	11,000	現　　金	11,000
出金伝票	**買掛金(千葉商店)**	**20,000**	現　　金	20,000
出金伝票	発 送 費	1,200	現　　金	1,200
出金伝票	買 掛 金	7,000	現　　金	7,000
売上伝票	売 掛 金	50,000	売　　上	50,000
売上伝票	売　　上	1,000	**売 掛 金**	**1,000**
売上伝票	売 掛 金	90,000	売　　上	90,000
売上伝票	売 掛 金	60,000	売　　上	60,000
仕入伝票	仕　　入	25,000	**買掛金(千葉商店)**	**25,000**
仕入伝票	買 掛 金	5,000	仕　　入	5,000
仕入伝票	仕　　入	27,000	買 掛 金	27,000
仕入伝票	仕　　入	(80,000)	買 掛 金	(80,000)
振替伝票	**買掛金(千葉商店)**	**30,000**	支払手形	30,000
振替伝票	当座預金	44,000	**売 掛 金**	**44,000**
振替伝票	前 受 金	19,000	**売 掛 金**	**19,000**
振替伝票	買 掛 金	(14,000)	当座預金	(14,000)
合　計		**609,200**		**609,200**

3．仕訳集計表

仕　訳　集　計　表

8月1日

借　　方	元丁	勘　定　科　目	元丁	貸　　方
125,000	省略	現　　　　　金	省略	39,200
44,000		当　座　預　金		14,000
200,000		売　　掛　　金		（ア）146,000
		支　払　手　形		30,000
76,000		買　　掛　　金		132,000
19,000		前　　受　　金		33,000
1,000		売　　　　　上		200,000
		受 取 手 数 料		10,000
132,000		仕　　　　　入		5,000
1,200		発　　送　　費		
11,000		消　耗　品　費		
（イ）609,200				（イ）609,200

4．買掛金元帳（千葉商店）

買　掛　金　元　帳

千　葉　商　店

日	付	摘　　要	借　方	貸　方	借または貸	残　高
8	1	前月繰越		99,000	貸	99,000
	〃	現金	20,000		貸	79,000
	〃	仕入		25,000	貸	104,000
	〃	支払手形	30,000		貸	74,000

・解答

①　（ア）146,000　（イ）609,200

②　74,000

5　勘定分析

最近の全商簿記２級では、主に第３問で勘定分析が出題されています。勘定分析は、与えられた情報から、解答を推定する問題です。以下の例題をもとに学習しましょう。

試験対策問題５－１　**下記の関西商店（個人商店、決算日12月31日）における受取家賃勘定の①と②に入る勘定科目と金額を答えなさい。ただし、家賃は２月末と８月末に翌月以降の６ヶ月分として54,000円を受け取っている。**

受　取　家　賃

12/31	**前受家賃**	**(　　　)**	**1/1**	**(　①　)**	**18,000**
〃	**損　　益**	**(　②　)**	**2/28**	**現　　金**	**(　　　)**
			8/31	**現　　金**	**(　　　)**
		(　　　)			**(　　　)**

・解説

1．仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1/1	前受家賃	18,000	受取家賃	18,000
2/28	現　　金	54,000	受取家賃	54,000
8/31	現　　金	54,000	受取家賃	54,000
12/31	受取家賃	18,000	前受家賃	18,000
〃	受取家賃	108,000	損　　益	108,000

2．勘定記入

受　取　家　賃

12/31	前受家賃	(　18,000)	1/1	(① 前受家賃)	18,000
〃	損　　益	(②108,000)	2/28	現　　金	(　54,000)
			8/31	現　　金	(　54,000)
		(　126,000)			(　126,000)

・解説

①　前受家賃　　②　108,000

6　本支店会計

最近の全商簿記２級では、主に第３問で本支店会計が出題されています。
未達取引、支店利益の振替等各論点をしっかり復習しましょう。

試験対策問題６－１　**下記の関西商店（個人商店、決算日12月31日）における本店の貸借対照表、支店の損益勘定および資料によって、支店の損益勘定の①の勘定科目、②本支店合併後の当期純利益、③合併損益計算書の期末商品棚卸高を答えなさい。**

［本店］

貸　借　対　照　表

資　産	金　額	負債・純資産	金　額
商　品	12,000	その他負債	20,000
支　店	60,000	資本金	100,000
その他資産	98,000	当期純利益	50,000
	170,000		170,000

［支店］

損　　益

12/31	仕入	60,000	12/31	売上	90,000
	その他費用	19,000	〃	その他収益	9,000
	（　①　）	（　）			
		99,000			99,000

資　料

1．支店から本店に送付した商品5,000円（原価）が決算日現在、まだ本店に到着しておらず、本店では未処理である。

2．支店における決算整理前の元帳勘定残高（一部）

繰越商品　4,000円　　本　店　55,000円　　仕　入　65,000円

・解説

1．未達取引

本店の貸借対照表における「支店」勘定60,000円と支店の決算整理前の「本店」勘定55,000円が一致していないため、本店の貸借対照表は未達取引を考慮する前の数値で作成していることがわかります。そこで、本店において以下の仕訳を加味する必要があります。なお、この処理を行っても本店の当期純利益に変動はありません。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**5,000**	**支店**	**5,000**
繰越商品	**5,000**	**仕入**	**5,000**

2．支店の損益勘定

支店の損益勘定は貸借差額で空欄の金額は20,000円と算定されます。この金額は支店の当期純利益であるため、決算振替で以下の仕訳が行われます。したがって、①の勘定科目は「本店」となります。

借方科目	金額	貸方科目	金額
損益	**20,000**	**本店**	**20,000**

損　益

12/31	仕入	60,000	12/31	売上	90,000
	その他費用	19,000	〃	その他収益	9,000
	(①本店)	(20,000)			
		99,000			99,000

3．本支店合併後の当期純利益

本店の当期純利益は本店の貸借対照表より50,000円とわかります。また、支店の当期純利益は、上記2．より20,000円です。したがって、本支店合併後の当期純利益は70,000円となります。

4．合併損益計算書の期末商品棚卸高

本店の損益計算書における期末商品棚卸高は、貸借対照表における商品12,000円に未達商品5,000円を足した17,000円です。また、支店の損益計算書における期末商品棚卸高は、決算整理前の繰越商品4,000円＋決算整理前の仕入65,000円－「損益」勘定における仕入60,000円＝9,000円と算定されます。したがって、合併損益計算書の期末商品棚卸高は26,000円となります。

・解答

①　本店　　②70,000　　③26,000

7　帳簿の記入（特殊仕訳帳）

最近の全商簿記２級では、主に第２問で特殊仕訳帳制が出題されています。特殊仕訳帳の記入と関連する総勘定元帳や補助簿の記入が問われます。帳簿の記入問題は時間がかかりますので、ほかの問題を解いた後、最後に取り掛かることをお勧めします。

試験対策問題７－１　**次の取引を、特殊仕訳帳としての当座預金出納帳と売上帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳に転記しなさい。ただし、総勘定元帳と売掛金元帳の記入について、仕丁欄は省略する。なお、特殊仕訳帳は月末に締め切るものとし、他に特殊仕訳帳として、現金出納帳と仕入帳を用いている。また、すでに記入してある取引も転記すること。**

４月5日　青森商店に次の商品を売り渡し､代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

B品　40個　@50円　2,000円

7日　秋田商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

C品　50個　@60円　3,000円

9日　秋田商店に売り渡した上記商品のうち品違いがあったので、次のとおり返品された。

C品　10個　@60円　600円

16日　岩手商店あてに振り出していた約束手形3,300円が、本日、支払期日となり当座預金口座から支払われたとの連絡を取引銀行から受けた。

［答案用紙］

①　当座預金出納帳

当　座　預　金　出　納　帳

1

日	付	勘定科目	摘 要	元丁	売掛金	諸 口	日	付	勘定科目	摘 要	元丁	買掛金	諸 口
			前ページから		4,000	1,100				前ページから		2,400	700
4	2	売掛金	青森商店	売1	1,000		4	4	現　金	引き出し	✓		300

② 売上帳

売　上　帳

1

日	付	勘定科目	摘　要	元　丁	売掛金	諸　口
			前ページから		2,200	1,200
4	3	現　金	秋田商店	√		1,300

③　総勘定元帳

当 座 預 金　2

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
4	1	前　月　繰　越	1,500				

売　掛　金　4

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
4	1	前　月　繰　越	?				

支 払 手 形　11

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
				4	1	前　月　繰　越	?

買　掛　金　12

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
				4	1	前　月　繰　越	?

売　　上　17

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方

④　売掛金元帳

青 森 商 店　1

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
4	1	前　月　繰　越	?				

秋 田 商 店　2

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
4	1	前　月　繰　越	?				

・解答及び解説

取引ごとに、特殊仕訳帳に仕訳を行い、関連する帳簿（総勘定元帳、売掛金元帳）への記入を行うことが効率的でしょう。ただし、合計転記されるものは、取引の都度、転記しませんので注意して下さい。また、試験時間が足りない場合には、特殊仕訳帳だけすべて記入するなども一つの戦略です。

１．下書

通常の仕訳を行い、どの帳簿に記帳されるかを考え、答案用紙に記入してください。

①　４月5日の取引

下記仕訳から当座預金出納帳と売上帳へ記入が必要となります。なお、「当座預金」勘定と「売上」勘定へは合計転記されるため、個別転記はされません。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**2,000**	**売上**	**2,000**

②　４月7日の取引

下記仕訳から売上帳へ記入が必要となります。なお、「売掛金」勘定と「売上」勘定へは合計転記されるため、個別転記はされませんが、売掛金元帳の「秋田商店」勘定へは個別転記されます。

借方科目	金額	貸方科目	金額
売掛金（秋田商店）	**3,000**	**売上**	**3,000**

③　４月9日の取引

下記仕訳から売上帳へ記入が必要となります。なお、「売掛金」勘定と「売上」勘定へは合計転記されるため、個別転記はされませんが、売掛金元帳の「秋田商店」勘定へは個別転記されます。

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上	**600**	**売掛金（秋田商店）**	**600**

④　４月16日の取引

下記仕訳から当座預金出納帳へ記入が必要となります。なお、「当座預金」勘定と勘定へは合計転記されるため、個別転記はされませんが、「支払手形」勘定へは個別転記されます。

借方科目	金額	貸方科目	金額
支払手形	**3,300**	**当座預金**	**3,300**

2． 帳簿記入

① 当座預金出納帳

当 座 預 金 出 納 帳

1

日	付	勘定科目	摘 要	元丁	売掛金	諸 口	日	付	勘定科目	摘 要	元丁	買掛金	諸 口
			前ページから		4,000	1,100				前ページから		2,400	700
4	2	売掛金	青森商店	売1	1,000		4	4	現 金	引き出し	√		300
	5	売 上	青森商店	√		2,000		16	支払手形		11		3,300
	30		売 掛 金	4	5,000	3,100		30		買 掛 金	12	2,400	4,300
	〃		当座預金	2		8,100		〃		当座預金	2		6,700
	〃		前月繰越	√		1,500		〃		次月繰越	√		2,900
						9,600							9,600

② 売上帳

売　　上　　帳

1

日	付	勘定科目	摘 要		元 丁	売 掛 金	諸 口
			前ページから			2,200	1,200
4	3	現 金	秋田商店		√		1,300
	5	当座預金	青森商店	小切手	√		2,000
			Ｂ品 ４０個	@５０円			
	7	売 掛 金	秋田商店	掛 け	売2	3,000	
			Ｃ品 ５０個	@６０円			
	9	売 掛 金	秋田商店	掛け返品	売2	600	
			Ｃ品 １０個	@６０円			
	30		売 掛 金		4	5,200	4,500
	〃		総 売 上 高		17		9,700
	〃		売上返品高		17／4		600
	〃		純 売 上 高				9,100

③　総勘定元帳

当座預金　2

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
4	1	前月繰越	1,500	4	30	当座預金出納帳	6,700
	30	当座預金出納帳	8,100				

売掛金　4

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
4	1	前月繰越	?	4	30	当座預金出納帳	5,000
	30	売上帳	5,200		〃	売上帳	600

支払手形　11

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
4	16	当座預金出納帳	3,300	4	1	前月繰越	?

買掛金　12

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
4	30	当座預金出納帳	2,400	4	1	前月繰越	?

売上　17

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
4	30	売上帳	600	4	30	売上帳	9,700

④　売掛金元帳

青森商店　1

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
4	1	前月繰越	?	4	2	当座預金出納帳	1,000

秋田商店　2

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
4	1	前月繰越	?	4	9	売上帳	600
	7	売上帳	3,000				